

## 南部町幼児期の終わりまでに育ってほしい25の姿

① 心身の健康	自分のやりたいことに向かって、心と体を十分に働かせながら見通しをもって取り組むとともに、自ら遊び・生活をつくり出す。
② 体を動かす意欲	戸外でのびのびとすすんで運動するとともに、体の動きの調整をする。
③ 食への関心	食べ物に興味・関心をもち、食事のマナーを意識しながらみんなで楽しく食べる。
④ 身辺自立	身の回りを清潔にし、衣服の着脱、食事、排泄などの生活に必要な活動を自分でするとともに、健康な生活リズムを身につける。
⑤ 安全な生活	危険な場所や生き物、災害時などの行動の仕方が分かったり、交通安全の習慣を身につけたりするなど、安全に行動する。
⑥ 自立心	自分でしなければならないことを自分で行い、困難なことでも思考・工夫・挑戦を重ねたり、友達や先生の助けを借りたりしながらやり抜く。
⑦ 友達とのかかわり	友達の思いに気付き、自分たちで課題を解決しようとする。
⑧ 協同性	クラス全体で目的や願いを共有したり、その実現に向けて工夫したり協力したりする。
⑨ 道徳性と規範意識	してよいことや悪いことが分かり、決まりを守ったり、自分の気持ちを調整したりしながら生活する。
⑩ 地域との交流・愛着	地域の人に関わり、親しみをもつとともに、自然とのかかわりを深め、南部町のよさを感じる。
⑪ 数量や図形	数量、図形等への関心・感覚を高める。
⑫ 文字	遊びや生活の中で文字の役割や必要性に気付き、読んだり書いたりしてみようとする。
⑬ 環境・自然との関わり	環境・自然に積極的に関わり、そのすばらしさに心を動かしたり、特徴や法則性に気付いたりする。
⑭ 思考力・探究心	物の性質やしぐみについて、気付いたことや不思議に思って調べたことなどを使って、試したり、工夫したり、新しい考えを生み出したりする。
⑮ 公共心	公共物は皆のものであると分かり大切に扱うとともに、自分の時間・皆の時間の区別をつける。
⑯ 国際理解の意識の芽生え	南部町の伝統文化や、外国など自分とは異なる文化や考えに触れる活動に親しむ。
⑰ あいさつ	親しみをもって心のこもった挨拶をする。
⑱ 状況に応じた表現	状況に応じた言い方や会話を意識して生活する。
⑲ 話し合い	自分たちの課題解決のために、グループ（小集団）で話し合いができる。
⑳ 言葉のイメージ	絵本や物語に親しみ、言葉に関心をもち、絵や言葉から自分で世界を想像したり考え出したりする。
㉑ 言葉のおもしろさ	言葉のもつ美しさやおもしろさ、新しい言葉や表現などに触れ、それらを使う楽しさを味わう。
㉒ 豊かな感性	美しいものや心を動かす出来事に触れてイメージを豊かにし、多様な表現を取り入れたり、友達と共有したりするなど工夫して遊ぶ。
㉓ 自己表現①	感じたこと、考えたことなどを自由にかいたりつくったりすることを通して、自己表現する過程を楽しむ。
㉔ 自己表現②	自分のイメージを動きや言葉で表現したり、演じて楽しんだりする。
㉕ 自己表現③	友達とイメージを共有し、試行錯誤しながら表現する過程を楽しむ。